



令和8年度 東京都北区立王子桜中学校

令和8年9月 第6号

校長 阿久津 光生

〒114-0002

東京都北区王子 2-7-1

Tel 03-5902-3155

王子桜だより

共生の精神に満ち、国際的視野に立ち、大きな夢の実現のために限りなく向上に努める人を育てる。

教育目標 自主 創造 飛翔

《祝3年生新垣さん 水泳関東大会出場おめでとうございます！》

3年生の新垣さんが7月12日(日曜日)江東区にある東京アクアティクスセンターで開催された第78回東京都中学校選手権水泳競技大会 水泳 男子 100m 平泳ぎで、1分08秒88の記録を出して、第8位に入賞し、関東大会出場が決定しました。本当におめでとうございます。そして8月8日から10日に山梨県で開かれた第50回関東中学校水泳競技大会に出場しました。ほんとうに凄いことです！おめでとうございます！



《道徳授業地区公開講座を行いました！》



7月15日(水曜日)5校時に道徳授業地区公開講座を行いました。1年生は、「よりよく生きる喜び」より良い集団を目指して「信じる道を」(北区渋沢栄一翁副読本 LOVE LIVE LEAD) 2年生は、「心理の追求、創造」新しいものを創造するために「スカイツリーにかけた夢」3年生は、「希望と勇気、克己と強い意志」困難を乗り越えてやり遂げるために「サグラダ・ファミリアー受け継がれていく思い」

授業後の意見交換会は、講師に元全国中学校道徳研究会会長の賞雅技子(たかまさ あやこ)先生をお招きして



行いました。賞雅先生は、元三鷹市の公立中学校の校長先生を、2021年より東京家政大学附属女子中学校の校長先生を務められておりました。現在、複数の大学で教鞭をとっておられます。教科書をはじめ、道徳教育に関する著書も多数執筆しています。先生からは大変造詣の深いお話をわかりやすく教えていただき、誠にありがとうございました。ご多用の中ご参加いただきました保護者・地域みなさまにも改めて感謝申し上げます。今後とも学校・家庭・地域社会が一体となって子供たちの心の教育を進めてまいります。

《屋上菜園で園芸ボランティア部と給食委員会みなさんでじゃがいもの収穫を行いました！》

6月23日(火曜日)15時30分から本校屋上菜園で、じゃがいもの収穫を行いました！当日は、園芸ボランティア部のみなさん15名と給食委員会のみなさん28名、先生方、ボランティアスタッフのみなさんで、じゃがいも掘りを行いました。今回は、なんと653個も収穫ができました！

収穫したじゃがいもは、こども食堂で夕食に使っていただき、本校の給食には、7月2日(木)じゃがいもの味噌汁、7月16日(木曜日)には夏野菜カレーライスに入れてもらい、とっても美味しくいただきました。本当にありがとうございました。



《祝 男子バレーボール部 都大会出場 おめでとうございます！》

7月19日(日曜日) バレーボール夏季都大会が開催され、王子桜中男子バレー部は、大田区立南六郷中学校体育館で行われ、南六郷中学校と対戦しました。勝利には至りませんでしたが、関東大会出場を決めた強豪校とハイレベルな闘いで、一人ひとりの技術力の高さを出し合って素晴らしい試合になりました。遠方まで、大勢の保護者の皆様が応援に来てくださり、ありがとうございました。生徒のみなさん、都大会お疲れ様でした！



《祝 ソフトテニス 女子個人都大会出場 素晴らしい勝でした！》



7月20日(月曜日) 海の日に有明テニスの森公園テニスコートで開催されたソフトテニス女子個人都大会に、先月の北区大会個人戦で見事3位になった中山・原田組が出場しました。1回戦は、八王子市立由木中学校と対戦し、フルセット3対3、ファイナルゲームでは繰り返しのデュースの末に、粘りに粘って見事に勝利をつかみました！感動的な瞬間でした！第2試合は、江東区立深川四中と対戦し、勝利には至りませんでしたが、強豪校相手に大いに健闘し、今までの努力の成果を存分発揮した素晴らしい試合となりました。炎天下の中、チームメイトのみなさん、大勢の保護者の皆さま応援に来てくださりまして本当にありがとうございました。

《祝 ソフトテニス 男子個人都大会出場 おめでとうございます！》

7月21日(火)有明テニスの森公園テニスコートで開催されたソフトテニス男子の都大会に、先月の北区大会個人戦で見事2位になった3年生長田・梅原組が出場しました。都大会出場本当におめでとうございます。八王子市立石川中と対戦し勝利には至りませんでしたが、最後まで大いに健闘しました。今までの努力の成果を、思う存分発揮した素晴らしい試合でした。炎天下の中、本当にお疲れ様でした。保護者の皆さまも応援に来てくださいまして誠にありがとうございました。



《祝ソフトテニス 女子団体 都大会出場 団体戦も見事な勝利！》

7月23日(木曜日)羽村市富士見公園テニスコートで開催されたソフトテニス女子の都大会団体戦に、先月の北区大会団体戦で見事2位になった本校ソフトテニス部女子が出場しました。都大会ではファインプレーや頭脳プレイの連続で、2回戦、練馬区立開進第二中学校に2対1で見事に勝ちました。3回戦は、羽村USCという全国に出場している強豪クラブチームと対戦することもできました！炎天下の中、チームメイトのみなさん、大勢の保護者の皆さま応援に来てくださいまして本当にありがとうございました。3年生にとっては、思い出に残る最高の試合になりましたね！本当におめでとうございます。お疲れ様でした！



《祝 吹奏楽部 東京都中学生吹奏楽コンクール見事、ゴールド金賞おめでとうございます！》



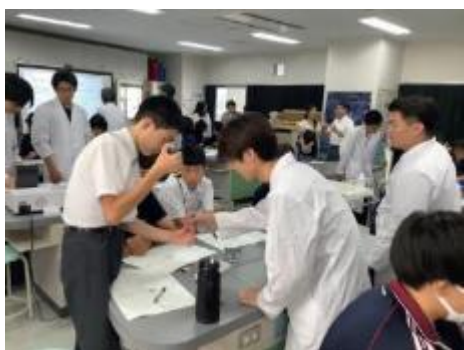
8月8日(土曜日)令和8年度第66回東京都中学生吹奏楽コンクールが府中の森芸術劇場ウィーンホールで開催されました。王子桜中は、B組で、曲は「THE TIMES」です。本当に素晴らしい演奏で、鳥肌がたつほどの圧巻の演奏を披露してくれました。そして待ちに待った審査結果発表で、「王子桜中、ゴールド金賞!!」の

コールが会場内に響きわたると会場の王子桜中の生徒・保護者の皆さん等から大きな歓声があがり、互いに手を取り合って喜びと感激の涙が止まりませんでした。日々の並々ならぬ努力の結晶がついに、ゴールド金賞という素晴らしい結果を生んだ瞬間でした。本当に、本当におめでとうございます！昨年に引き続き2年連続ゴールド金賞となりました。顧問の柴山先生、田畠先生、そして指揮者をしてくださいました平野先生をはじめ専門的なご指導をしてくださいました講師の先生方、日々ご支援くださいました保護者の皆さまに改めて感謝申し上げます。



《 王桜ラボ「未来の高峰譲吉は君だ！」を開催しました！ 》

8月21日（金曜日）13時30分から15時30分まで、本校理科室において、中高生向け特別実験講座「未来の高峰譲吉は君だ！」（王桜ラボ）を開催しました。



本講座は、消化酵素「タカジアスターゼ」や世界で初めて結晶化に成功した「アドレナリン」の研究で知られる化学者・高峰譲吉博士の功績を学びながら、次世代を担う中学生・高校生が科学や研究への興味・関心を深めることを目的として実施するものです。この企画の大元となるコンセプトがあります。それは、渋沢栄一翁が創業した王子製紙ゆかりの地にある王子桜中学校と堀船中学校、高峰譲吉博士が渋沢栄一翁の支援を受けて創業した日本人造肥料会社ゆかりの地にある都立科学技術高等学校（江東区大島）、のちにこの人造肥料会社が日産化学となり、そのゆかりの地にある明桜中学校と東京成徳大学高等学校、今年度から北里大学附属となった順天中学・高等学校の6校32名が一堂に会することができました。渋沢栄一翁・高峰譲吉博士・北里柴三郎博士、盟友3名の偉人が生きた激動の時代から120年が経ちます。VUCA（ブーカ）の時代と言われる技術革新や社会の変化が激しく、これまでの常識や過去の成功体験が通用しにくい状況を生きていく生徒・学生のみなさんにとって、失敗を恐れず、興味のあることに挑戦して、一人ひとり新たなイノベーションを推進していくというアントレプレナーシップ教育の一環として、この事業を捉えています。この企画実現のために、NPO法人高峰譲吉博士研究会事務局長の長谷部様に多大なるご尽力をいただき、金沢工業大学 バイオ・化学部 生命・応用バイオ学科 准教授 相良 純一先生と15名の学生の皆さまが、たくさんの実験器具を抱えてわざわざ石川県から来てくださって、中高生向け特別実験講座「未来の高峰譲吉は君だ！」（王桜ラボ）を開催してくださいました。中学生・高校生・大学生が校種を問わずグループを作り、大学生がとっても丁寧にわかりやすく実験の仕方を教えてくれて、専門的な内容を楽しく・わくわくしながら学ぶことができました。今後も、この縁を大切にしながら、近未来をたくましく生きる生徒の育成に邁進してまいります。関係の皆さま方に改めて感謝申し上げます。なお、王桜ラボの様子は8月22日（土曜日）の読売新聞朝刊にも掲載されました。

築地の外国人居留地

現在、築地と聞くと、築地場外市場を真っ先に思い出す人が多いと思います。約 400 店舗が営業をしている活気あふれる「食の街」として賑わっています。新鮮な海鮮丼や食べ歩きグルメが楽しめる観光地として国内外の多くの人で連日大盛況です。しかし、築地には別の側面があることはあまり知られていません。それは、かつて築地は、まるでヨーロッパのような街並みが存在していたことです。1868（明治元）年、明治政府は江戸幕府が諸外国と結んだ修好通商条約に基づいて、江戸（東京）の築地（現在の中央区明石町一帯）に外国



築地場外市場

人居留地が開設されました。開港された函館・横浜・新潟・神戸・長崎がある一方で、築地は外国人が居住するために開かれた場所でした。外国公使館・教会・学校などの西洋建築が立ち並ぶ外国人の街となった築地外国人居留地は、明治元年から明治 32 年(1899)の条約改正まで続きました。やがて関東大震災を契機に異国情緒漂う町並みは大きく変容しました。現在では、明治 33 年(1900)に来日した米国聖公会の宣教医師ルドルフ・B・トイスラーが開院した聖路加病院（聖路加国際病院〈1917 年〉と改称）が大きく発展し、居留地時代の面影を彷彿させる存在となっています。その聖路加国際病院の敷地内に、ヨーロッパの山荘を思わせる特徴的な外観を持つ建物があります。それは、初代院長の名を冠してトイスラー記念館と称されています。この建物は、昭和 8 年(1933)の創建から平成元年(1989)に至るまで、現在の聖路加タワーの辺りにあ

りましたが、解体保存工事を経て平成 10 年(1998)に現在の中庭へと移築復元されました。実は、この聖路加国際病院にも、北区の誇る偉人、**渋沢栄一翁**が関わっているのです。**渋沢栄一翁**は、「できるだけ多くの国民が医療にかかることができるように」という思いから、医療福祉機関に対しても多額の寄付を行っています。大正 3 年（1914）に、聖路加病院の国際病院設立計画評議員会が成立し、会長に大隈重信、副会長には渋沢栄一が選任されました。大正 12 年（1923）関東大震災や大正 14 年（1925）の火災で被災した際には支援を行っています。また、昭和 3 年（1928）には病院の事業を拡張するため、栄一たちの説得でアメリカの支援者から寄付金が集まっています。このように栄一は、実業家として得た財産を積極的に社会に投じ、近代日本の福祉や医療分野を育みました。弱者に寄り添うその姿勢は、栄一の人柄を今に伝えます。



左 聖路加国際大学・病院

右 トイスラー記念館

写真協力 聖路加国際病院・聖路加国際大学



左 立教学院発祥の地

右 立教女学院発祥の地

写真協力 聖路加国際病院・聖路加国際大学

《聖路加国際病院の周辺》

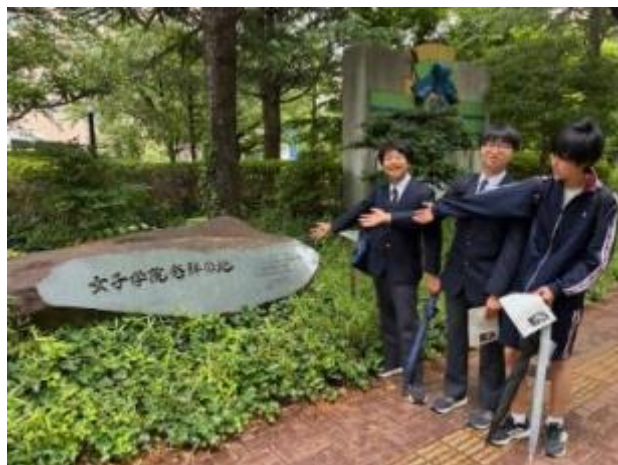
聖路加国際病院の敷地内やその周辺は、多くの学校の発祥の地となっています。慶應義塾、青山学院、女子学院、明治学院、雙葉学園、立教女学院、立教学院、女子聖学院などの幕末から明治期にかけて次々と設立されました。慶應義塾以外はキリスト教系の学校（ミッションスクール）です。

【立教学院・立教女学院発祥の地】

聖路加病院が開設された築地居留地 37 番は、1874（明治 7）年にウィリアムズが私財を投じて購入した土地で、病院開設前は、立教の校舎（当時は、立教大学校）が建っていた場所でした。居留地 37 番を後にした立教学院は、居留地 57～60 番へと移転しますが、その場所が現在の聖路加国際大学の敷地です。立教学院と聖路加国際大学は、米国聖公会を母体とする教育機関で非常に近い関係にあります。次号で、立教学院については、詳しく掲載します。ウィリアムズは、1877 年には、女子教育の必要性から立教女学院を設立しました。立教大学は、豊島区西池袋に、立教女学院は、杉並区久我山にあります。

【女子学院発祥の地】

1870 年、ジュリア・カロゾルスが築地居留地 6 番に A 六番女学校を創設しました。A 六番館は築地に最初の洋館として建てられ、見物人が絶えなかったというが、1872（明治 5）年 4 月 4 日全焼。この建物はその後すぐに再建されました。発祥地には既存建築物があるため、聖路加国際大学の好意により記念碑は、同大学前庭に設置されています。現在は、千代田区一番町にあり、桜蔭・雙葉とともに日本の「女子御三家」と呼ばれる国内屈指の難関校としてとして有名です。



女子学院発祥の地

写真協力 聖路加国際病院・聖路加国際大学

【慶應義塾発祥の地】

福澤諭吉は、1858 年にこの地にあった中津藩中屋敷に蘭学塾を開きました。それが慶應義塾の始まりです。多くの学校は、当時、築地が明 2（1869）年に外国人居留地になった後にできました。もうその時には、慶應義塾は移転していました。いく度の移転の後、現在は、港区三田に慶應義塾大学があります。



【青山学院の発祥の地】

青山学院の発祥の地 1877 年（明治 10 年）に、現在の源流校の一つである「海岸女学校」がこの地（中央区明石町 10 番地）に開校し、現在の青山学院の礎が築られました。記念碑には、当時の海岸女学校の建物の写真とともに、青山学院の歴史が刻まれています。現在、青山学院大学は、渋谷区渋谷にあります。



【明治学院発祥の地】

明治学院は 1863 年にヘボン塾として横浜で設立されました。築地にやってきたのは 1880 年です。創始者ヘボンは、幕末から明治にかけて来日したアメリカの医師・宣教師です。英語発音に近い「ヘボン式ローマ字」の考案者として知られ、日本初の和英辞典の編纂や聖書の日本語訳、日本の近代化に多大な貢献をしました。現在は、明治学院は、港区白銀台にあります。



【雙葉学園発祥の地】

雙葉学園は 17 世紀にフランスのニコラ・バレ神父（1621～1686）によって創立された修道会「幼きイエス会」を設立母体としています。明治 5（1872）年、「幼きイエス会」の 4 名が海外からの修道女として初めて来日しました。明治 8（1875）年には築地明石町に語学学校を設立しました。これが雙葉学園の前身です。現在、千代田区六番町にあり、桜蔭、女子学院とともに東京の「女子御三家」と呼ばれる国内屈指の難関校として有名です。



【暁星学園発祥の地】

暁星学園は 1888（明治 21）年にマリア会のフランス人修道士らによって、現在の中央区明石町にあるカトリック築地教会の敷地内で創設されました。教会正門前の歩道には、校名である暁星（明けの明星（金星））がデザインされた「暁星学園発祥の地記念碑」が建てられています。現在、千代田区富士見にあります。



【カトリック築地教会】

カトリック築地教会明治 7 年（1874）にフランス・カトリック教会が居留地 36 番（当該地）を競借した後、明治 11 年（1878）に築地聖ヨゼフ天主堂（旧聖堂）を創建しました。煉瓦造の旧聖堂は関東大震災で焼失したため、昭和 2 年（1927）にギリシア神殿建築を想わせる古典主義様式の新聖堂が再建されました。カトリック築地教会は東京で最古のカトリック教会です。また教会聖堂は 1999 年（平成 11 年）4 月東京都景観条例により歴史的建造物に選定されました。さらに 2001 年 3 月中央区からも文化財に選定され居留地時代の雰囲気をもよく留めています。



カトリック築地教会様のご厚意で教会の歴史や、教会の建築について丁寧に教えていただきましてありがとうございました。ジャンヌ・ル・ルイーズの鐘や明治時代にフランスから輸入された大変貴重な足踏み式オルガン「ハルモニウム」にも触れさせていただく等の体験までさせていただきまして本当にありがとうございました。

